



田境毅 議員

混乱しない情報発信の強化を

関係課が協議し早期実現目指す



問 線状降水帯による突如の豪雨で、錦田など町内3カ所のアンダーパスの冠水被害などが現実化している。冠水した時の、交通の混乱を起こさないよう、情報発信のあり方を問う。

答 水が引いているのに、通行止めが解除されない時がある。通行止めと、解除の情報を出し方は。

問 建設部長▼異常水深情報自動通知される。解除は委託業者の安全確認後にする。

答 通行止め時の迂回誘導など、安全な行動には的確な指示が必要だが、その仕組みはどうなっているか。

問 町から情報発信するということ取り決めるという取り決めはない。各自で状況確認して行動していただきたい。

問 豪雨時には落雷による停電も想定される。避難所の防災体制の備えはどうか。

答 基幹的避難所となる小中学校、幸田高校には発電機を整備している。

問 安全優先、円滑な交通処理を、関係各所と連携して行く。

答 状況変化に即応できる、こうしたタウンメール活用の実現性は。

問 驚田と仲田アンダーパスの町職員対応は課題。さらに一歩踏み込んだ取り組みを。混乱しない情報発信の強化を。



通行止め規制中なのに車が往来（錦田アンダーパス）

て早期実現を目指す。

工業団地完成後の交通量予測は

若干増加するも影響は少ない

問 企業誘致をはじめとする将来の環境変化を見据え、交通安全対策が望まれている。

答 須美前山工業団地完成後の周辺道路の交通量予測と、地域への影響はどのように考えているか。

問 企画部長▼対象道路の交差点解析の結果、若干交通量は増えるが、周辺交通に影響は少ないと思われる。

答 23号本線の渋滞がインターでの合流をしにくくし、それが周辺道路に悪い影響を及ぼしている。この状況に対する考えは。

問 道路に関する施策や現状の課題など、町民に情報が入手しやすい環境づくりを。

答 建設部長▼暫定2車線で供用している。4車線化で改善すると考える。

問 道路に関する施策や現状の課題など、町民に情報が入手しやすい環境づくりを。

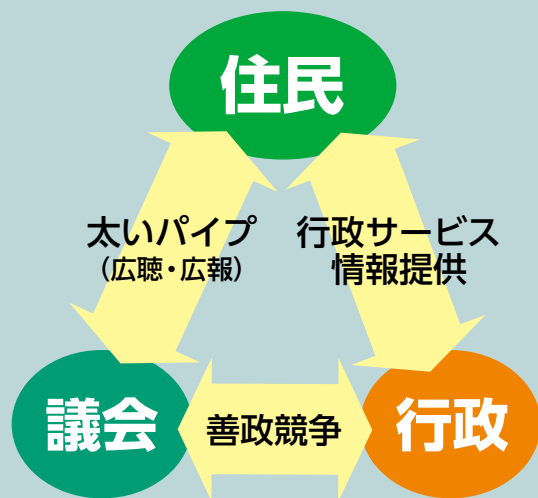
答 名四国道事務所がホームページで発信している。町のホームページにもリンクさせるなどしたい。

問 トラック物流増加が想定される。交差点右折レーン停止線位置の対策を。

答 道路構造令に基づいて設置されているが、トラックなど大型車の増加などで支障のあるところは、公安委員会など関係機関に相談したい。

町民に読まれ伝わる 広報紙面づくり

議会報発行の意義・目的



議会広報で めざす▽

- ・見える化
- ・民意反映
- ・情報共有
- ・説明責任
- ・機能発揮
- ・福祉向上
- ・信頼醸成
- ・認知評価

県下21市町村議会、125人の議会広報委員が参加し、議会広報サポーター芳野政明氏よしのまさあきによる、議会広報の基
本と編集などを研修した。

第35回
広報研修会に参加
主催 愛知県町村議会 8月9日



芳野講師



読者を増やすため研修

講師から、本町の議会広報クリニックで、住民登壇など、住民の声を反映させる好企画が多く、さらなる進化

所感

を期待するとの評価をいただいた。

今後、町民に読まれ伝わる紙面づくりに一層努めなければと気持ちを新たにしました。

広報を基幹活動と位置づけ

地方議会は住民参加が前提の機関

住民代表機関としての役割、機能を果たすため

議会活動の「見える化」、住民の意見・要望を集約。住民が議会を「自分ゴト」と受け止めるよう興味関心を喚起、つながりが実感できるように。

どんなに素晴らしい議会活動も、それを住民が知らなければ、評価はなきに等しい。議会の諸活動が住民に伝わり、理解されるまでが議会の仕事